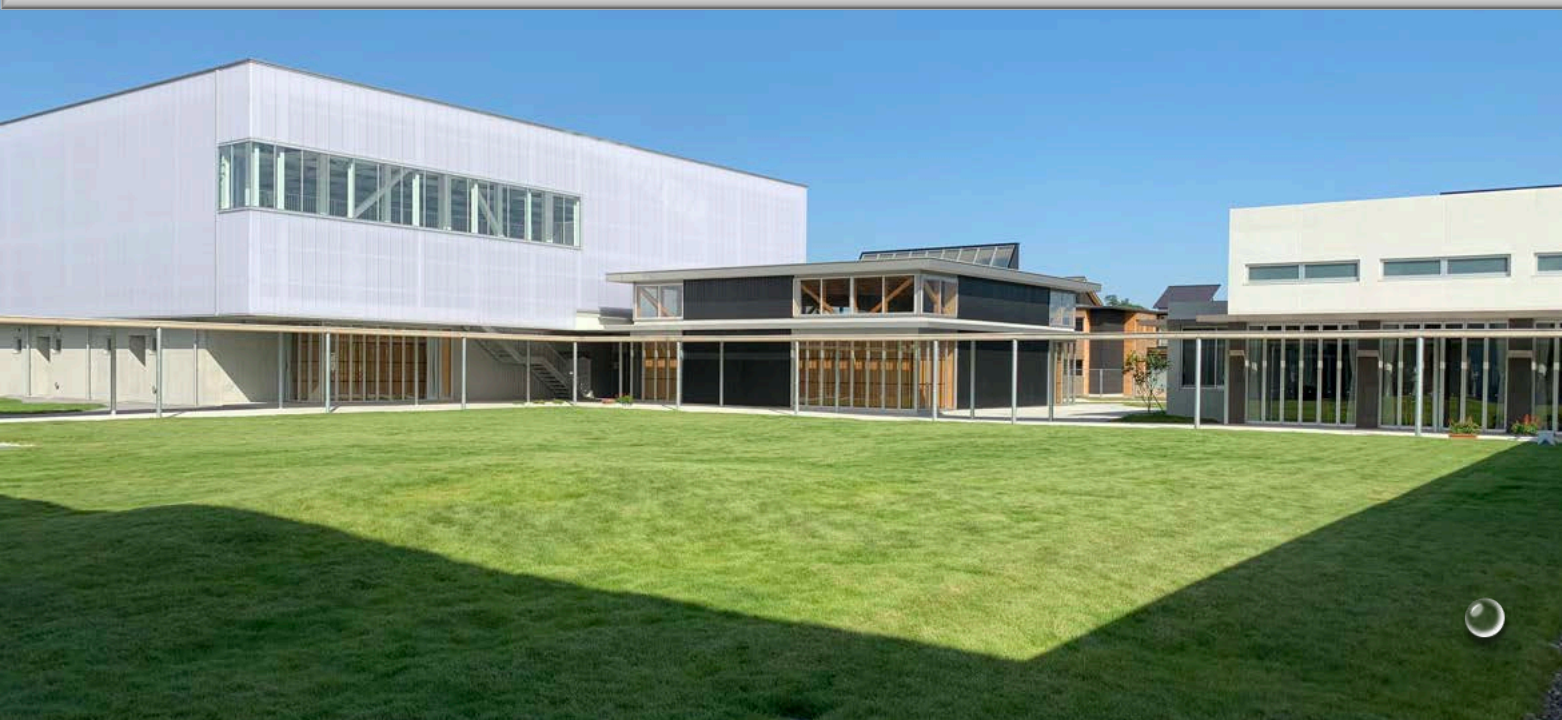


「保健体育科授業における 感染症の取扱とCOVID-19」

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校

保健体育科 教諭 佐藤甲斐



自己紹介 & 学校紹介

名前：佐藤 甲斐（さとうかい）

職業：中学校教諭（保健体育科）

勤務校：

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校（併設型中高一貫教育校）

特徴：

探究的な学びを推進する，離島（大崎上島）にある全寮制の学校

本日の発表内容

- ① COVID-19を教材化した動機について
- ② COVID-19の教材化のプロセスについて
- ③ 単元の全体像とCOVID-19の位置付け
- ④ 生徒の授業に対する反応

A red, distressed-style stamp with a rounded rectangular border. Inside the border, the text "COVID-19" is written in a bold, sans-serif font. The letter "O" is replaced by a stylized red virus particle with a central black dot and radiating lines. The stamp has a textured, ink-like appearance with some white speckles.

COVID-19

① COVID-19を教材化した動機について

- ・ 休校期間中（3ヶ月間）のオンライン授業において体育ではなく保健の授業を行なった。
- ・ 本校の特徴（全寮制）を踏まえると、感染症に対する生徒の理解と正しい行動が必須であった。
- ・ 主体的な学びと実生活のつながりを重視した授業を目指す。
- ・ 教科の内容として感染症を取り扱うこと。

教科書での取り扱いについて

適切な予防
＋
健康維持

著作権保護のため映像を削除しています

過去の感染症に
対する諸外国の
取組

教科の目標との関連

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

② COVID-19の教材化のプロセスについて

設定

- ・単元の総括的評価課題の設定（レポート）
- ・探究テーマの設定「持続可能な社会の実現と人々の健康は、環境と社会システムの相互作用により成り立つ。」

分析

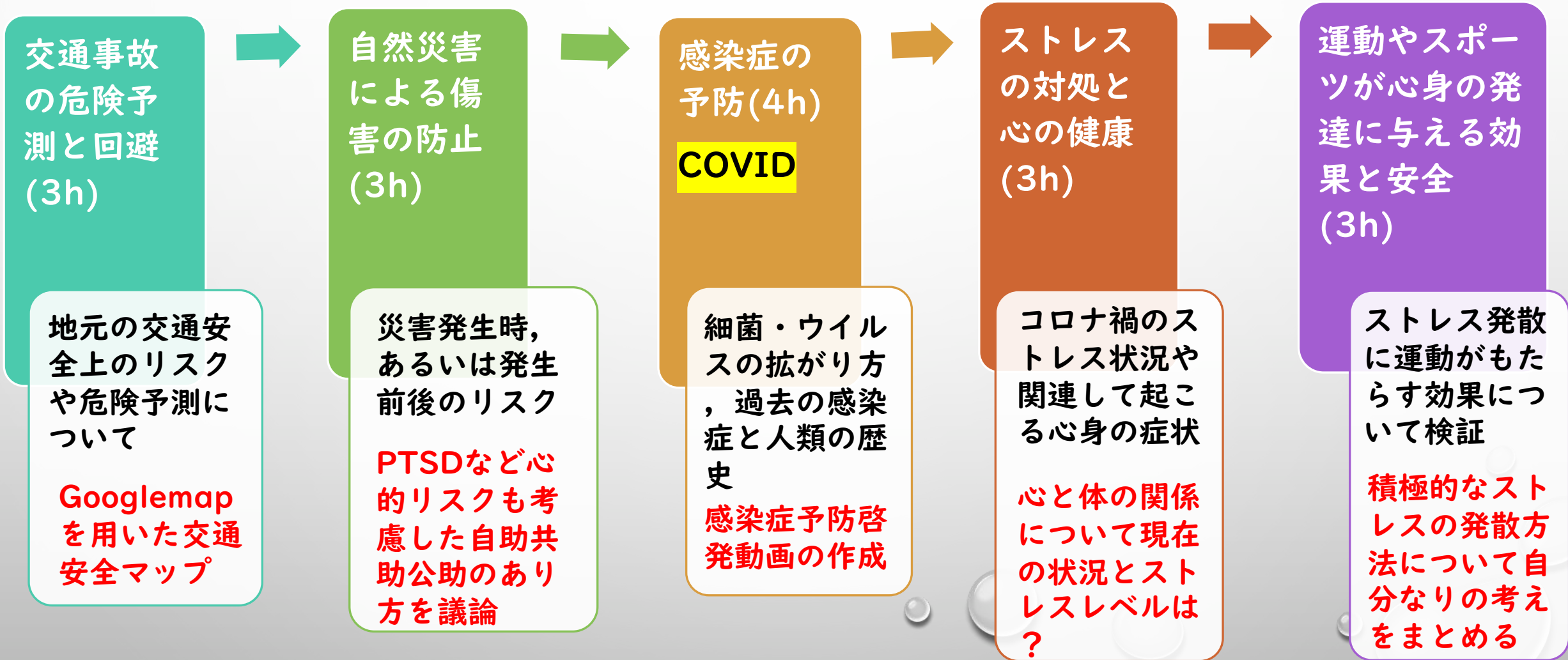
- ・他教科とのつながり
- ・数ある参考文献や資料（インターネットや本）の選定

開発

- ・大単元の作成（1時間完結の授業ではない）
- ・実生活に即したものにするための工夫

③ 単元の全体像とCOVID-19の位置付け

保健（中学校2年生）16単位時間



まとめ

- 保健分野における感染症単元にCOVID-19を位置付け，単元作成
- 生徒の実生活（学校生活・寮生活）に生かすための授業展開を心がける
- 保健と体育とのつながりを重視し，生涯に渡って心身の健康を保持増進するための資質・能力
- 指導にならない主体的な学びの実現

ご清聴ありがとうございました。